

国民体育大会の選手選考

一般財団法人滋賀陸上競技協会強化委員会

第73回国民体育大会 「2018 福井しあわせ元気国体」

<開催日>平成30年10月5日(金)～9日(火) <会場> 福井県宮陸上競技場

【選考会 (一般の選手は3回出場機会を設定、中学・高校の同一選考会を設定)】

| | | | | |
|------------|----------------|---------|---|-----|
| 第1回 | 4/29(日) | 国体選手選考会 | … | 皇子山 |
| 第2回 (少年の部) | 5/31(木)～6/2(土) | 高校春季総体 | … | 皇子山 |
| 第3回 | 7/7(土)～8(日) | 滋賀県選手権 | … | 皇子山 |
| 第4回 (少年の部) | 7/21(土)～22(日) | 中学通信陸上 | … | 布引 |
| 第5回 (少年の部) | 7/26(木)～27(金) | 中学夏季総体 | … | 皇子山 |
| 第6回 | 8/11(土) | 国体選手選考会 | … | 皇子山 |

各大会は別紙要項による。

県選手権では少年B種目および規格の違う種目と選手権以外の国体種目を実施(第2・4・5回目は設定なし)する。

成年の競歩については10000mWの記録を参考に選考しますが、選考会は5000mWを実施する。

【エントリーの規定】

- ・監督2名、選手29名(男女各19名以内)エントリーできる。
- ・少年Aは高校2・3年生、少年Bは中3・高1年生で少年共通は中3～高3年生とする。
- ・一人、リレーを除く2種目までエントリー可能である。
- ・4×100mRは成年、少年A、少年B各1名とあと1名は種別を問わない、合計8名までエントリーできる。
- ・成年女子5000m競歩・走高跳・棒高跳は少年Aの選手も出場可能である。
- ・「ふるさと」出場を認める。

【選手選考について】

- ・別紙の標準記録を基に選考する。
- ・選考会に出場した選手の中から総合的に判断し選考する。
- ・4×100mRについても検討する。
- *8/11(土)強化委員会にて選考を行い候補とし、理事会にて正式決定とする。
- ・7月の県選の後、A標準突破者は内定し候補とするが、複数いる場合はその限りでない。
- ・B標準を超えた時点で国体の候補選手とし、原則としてその種目を派遣するが、30種目以上超えた場合は派遣する種目を検討する。

都道府県対抗男子駅伝・女子駅伝競走大会 選手選考

- ・第37回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会 <開催日>平成31年1月13日(日) <開催地>京都市
- ・第24回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 <開催日>平成31年1月20日(日) <開催地>広島市

*エントリーの規定(エントリー以外でも交代は可能)

区間の配置は以下のとおり

| | 1区 | 2区 | 3区 | 4区 | 5区 | 6区 | 7区 | 8区 | 9区 |
|--------------|-------|-------|---------|-------|----------|----------|--------|-------|--------|
| 男子(48.0km) | 7km高校 | 3km中学 | 8.5km一般 | 5km高校 | 8.5km高校 | 3km中学 | 13km一般 | | |
| 女子(42.195km) | 6km-高 | 4km-高 | 3km中学 | 4km-高 | 4.1075-高 | 4.0875-高 | 4km-高 | 3km中学 | 10km-高 |

中学生は2年・3年生で3名エントリーのうち2名出場。

男子 一般選手は「ふるさと」2名エントリーできるが、出場は1名のみとする。

一般は3名、高校生は4名エントリーする。

女子 高校生を3名以上出場、一般選手の「ふるさと」は2名までエントリー・出場可能である。

一般は7名まで、高校生は3～10名までエントリーできる。

【一般】

- ・各種駅伝の実績および男子10000m、女子5000mの記録により、強化候補選手を選考する。
なお、県外でシーズンベストを出した選手は11月末までに記録証明を下記、男女とも駅伝担当へ送付すること。
〒520-0246 滋賀県大津市仰木の里1-23-1 滋賀県立北大津高等学校 小川 侑也
- ・強化候補選手は選考以後、滋賀陸上競技協会の強化対策(県外強化合宿、県内合宿、練習会、記録会等)への参加により強化する。
- ・本大会登録選手については、強化候補選手から男子3名、女子4～6名を選考する。